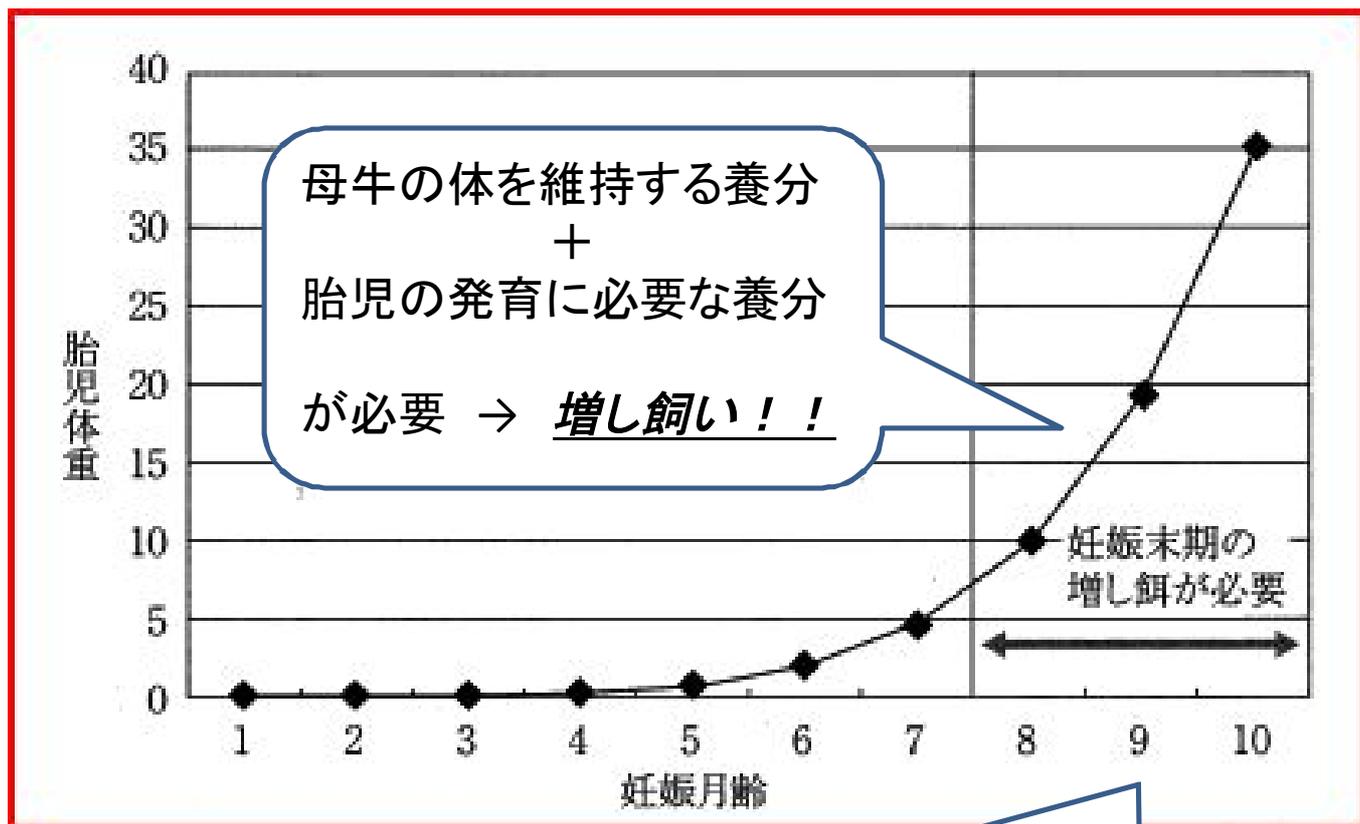


☆☆☆毎月8日は畜舎一斉消毒の日☆☆☆

妊娠末期の増し飼いについて

2012.8.17-18 市場研修会 おおいた肉用牛振興協議会

母牛体内の胎児は、妊娠末期の2～3か月で急速に発育



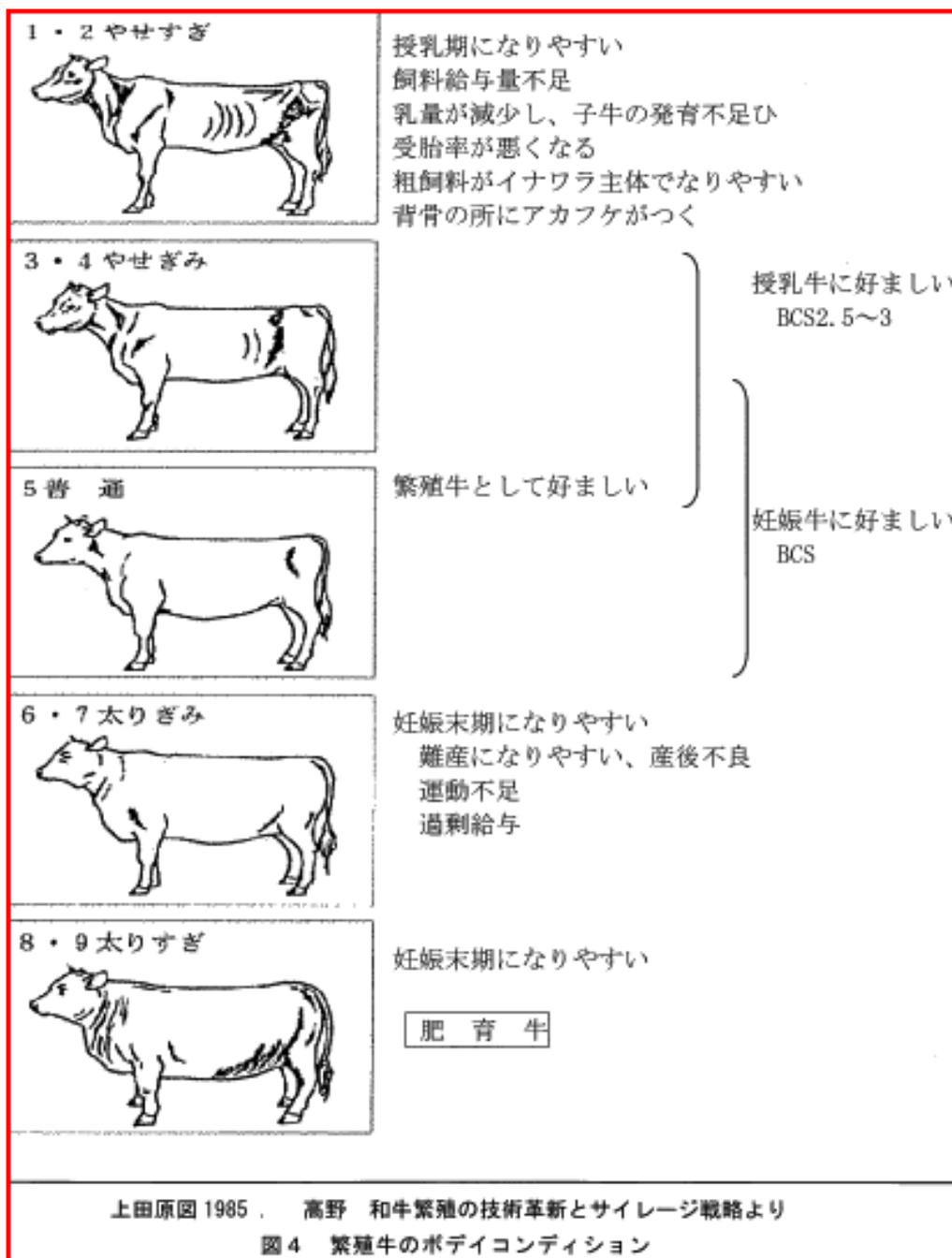
濃厚飼料1kg、イタリアン乾草0.5kg程度の増し飼い

ただし、和牛は系統や個体差が大きく、乾草の品質も農家毎に違うため、母牛の体型をよく観察しながら増減しましょう。

また、必要以上の飼料を給与しても大きな効果はありませんし、かえって過剰な養分が母体に蓄積され、その後の繁殖成績にも影響します。



母牛のボディコンディションにより給与量を調整しましょう！！



※妊娠末期に増し飼いをしないと、母牛の栄養不足や空腹ストレスにより、以下の影響が出る可能性があります。

- ◎早産・分娩遅延
- ◎初乳中の免疫抗体が少ない → 子牛が病気ばかりする
- ◎分娩後の母牛の体重の回復が遅れ、泌乳性が少なくなる
- ◎初回排卵・発情が遅れる

※ご不明な点は、最寄りの振興局にお尋ね下さい。